

## 6月4日(土) 第1回 「ほっと・ぼらんていあ」の報告

今回のテーマは、「自分の趣味(歌)を生かしたボランティア」・・・自分がたのしくなければ相手も楽しめない・・・退職後に(63歳)から始めたボランティアと題して、ゲストに「泉谷俊二さん」をお迎えして、お話していただきました。

**泉谷さんは**、弘前出身で、弘大を卒業し仕事で神奈川に移り住んで40年、**退職後**に、自宅の周りを散歩している時に見つけた**福祉施設の「ぺんぺん草の会」のボランティア**を始めたのが「きっかけ」だったと話している。**音楽やレクリエーションのお手伝いをするボランティアで、楽しませるではなく楽しめる**という文句が気に入ったそうです。**自宅では、夕食を作るのが泉谷さんの担当**で(会場の女性人から一瞬、どよめきが起こり)、**ボランティアで料理も披露**したそうです。活動先で「千昌夫さんの歌を歌った際に**認知症の方に涙を流して喜んでもらったことで、ボランティアをやって良かった**と思った。」**2014年**に弘前に**Uターン**してきて、ボランティア支援センターで紹介してもらった**音楽ボランティア「赤とんぼ」**に参加したことから、**平成の家のカラオケサポート**のボランティア、**少年警察ボランティア**にも参加している。そして**1か月前に「ボレボレの会」**の会員になって**オカリナ**を始めたばかりで、つい最近、施設を訪問しオカリナを披露してきたそうです。代表の和泉さんから、**上手じゃなくてもいいからと言われたことで心が楽になって思い切って演奏することができた**そうです。もし、**上手になってからと言われていたらたらその一歩を踏み出せなかったかも**知れないと笑顔で話している。「**ボランティアは、楽しいから続けることができる。楽しくなくなったら(苦しくなったら)やめた方がいいのかも**」と・・・後半では、覚えたての**オカリナで「若者たち」「四季の歌」**参加者からリクエストされた「**見上げてごらん夜の星を**」を**演奏し、それに合わせてみんなで歌って**過ごしました。**最後に、みんなで「ふるさと」を歌って**参加者も満足な様子でした。

**参加者は～良く分からないできました。歌の演奏を聞けると**思ってきました。**テーマに引かれて**きました。**友達に誘われて**きました。～とそれぞれの思いで参加してくださいました。最後に、泉谷さんのお話を聞いて**自分も決意(ボランティア活動に参加することを)しましたと笑顔で話された方が二人**もいました。ボランティアを楽しんでいる様子が、会場のみなさんにも伝わって良かったです。

「ほっと・ぼらんていあ」は、みなさんのボランティア活動に少しでも役立てていただけるように、これからも2か月に1回程開催予定です。**次回は、8月20日(土)13:30～15:30**まで、**学習支援ボランティア「サタティ☆くらぶ」の方をお招きしてお話ししていただく**予定です。詳細に関しては、ボランティア支援センターのHPや広報、新聞等で確認していただければ助かります。ボランティアに興味のある方に限らずに、みなさんのご参加をお待ちしています。

